

市民を幸せにする自治体

日時 2008年
10月1日(水)
11:00~12:30 (開場10:50)

場所 聖学院大学 チャペル
上尾市戸崎1-1
JR宮原駅・日進駅より学生バスがあります

講師 西川 太一郎

東京都荒川区長・聖学院大学客員教授
元衆議院議員・元経済産業副大臣

挨拶 阿久戸 光晴 聖学院大学学長

司会 平 修久 聖学院大学コミュニティ政策学科長

参加 無料

私たちの生活にとって重要な存在である自治体。かつては「お役所仕事」という多くの批判を受けてきたが、地方分権が進み、市民の地域活動が活発化することと並行して、大半の自治体は変革、変貌しつつある。自治体の業務をサービスと改めて捉えなおし、住民ニーズをより尊重し、効率的運営が展開されつつある。

そのような中で、東京都荒川区の西川太一郎区長は、「区政は区民を幸せにするシステム」というコンセプトを打ち出した。言われて見れば当たり前ではあるが、一歩先んじた考え方であり、自治体の目指すべき最終目標を示している。荒川区では、この考えのもと、環境先進都市や生涯健康都市といった内容を含む「幸福実感都市」を将来都市像に掲げた基本構想を策定し、高い質のサービスを提供している。荒川区の自治体経営を通して、自治体のあるべき姿を考えたい。

会場案内図

